

# 島原高校理数科だより

平成29年 第1号  
5月15日 発行

## Activities of Science and Mathematics course

### 理数科第15期生が入学しました



4月10日(月)、理数科第15期生となる新入生が入学しました。入学式では生徒を代表して吉田拓司君が「これからの3年間様々な挑戦をし、たくさんの壁にぶつかりながらも多くのことを学びたい」と頼もしい言葉を述べてくれました。これから3年間、理数科ならではの行事・研修の中で新しい視点や見識を身に付け、充実した高校生活を過ごしてくれることを期待しています！

### 理数科対面式



入学式に続き、4月14日(金)、1年生が入学後すぐ、理数科の先輩である2・3年生から、活動してきた内容についての話がありました。3年生からは課題研究の内容について、2年生からは1年次に取り組んだ実習等について、スライドを用いながら説明しました。新入生はこれからどんな活動をするのか、イメージが沸いたのではないのでしょうか。

### 九州大学附属地震火山観測センター見学



4月26日(水)に2年生理数科が九州大学附属地震火山観測センター見学を行いました。研修室で「普賢岳噴火と予知の研究」と題して、元所長で九州大学名誉教授の太田一也先生に講義を実施していただきました。雲仙火山の成り立ちと島原半島の源泉成分に関するお話をいただき、大学における研究の奥深さを学ぶことができました。

### 理数科ってどんなところ？

皆さんは「理数科」がどんなところか知っていますか？島原高校には「普通科」とは別に「理数科」が設置されており、「理数科」でしか体験できない行事がたくさんあります。ここでは理数科独自の取組について少し紹介します。

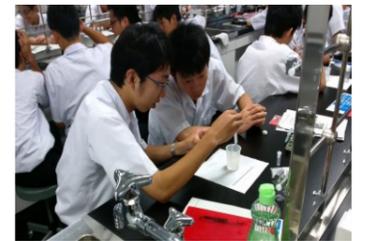
#### 理数科の特徴①「豊富な体験活動」

1年次には「有家川の水質調査」、「島原半島巡検」、2年次には「課題研究」「小学生への出前実験」など、机上では味わえない理数科だけの活動がたくさんあります。



#### 理数科の特徴②「充実した大学研修」

長崎総合科学大学、長崎県立大学、崇城大学などの大学と連携し、大学レベルの講義・実習を行います。こういった研修を通して、「大学とはどのような所か」「自分はどんな学部・学科に合っているか」といったことを学びます。



### 2020年度に大学入試が変わります

2020年度、現行の「センター試験」は「大学入学者学力評価テスト(以下、新テスト)」と変わり、大学入試の制度が大きく変わる予定です。この新しい入試で問われることは、「新テストの結果」だけでなく、「高校時代の活動歴」、「大学入学希望理由書」、「ディベートやプレゼンテーション」などだと言われています。つまり、ペーパーテストによる学力勝負の入試から、「知識だけでなく、思考力・表現力・多様な人々と協働する力が問われる入試」に変わろうとしています。これに対応するために、高校での学びも「どのような活動をしてきたか」「将来に向けてどのようなビジョンがあるか」「自分の考えを論を立てて表現できるか」といったものに変わる必要が出てきます。

戦後最大の教育改革と言われるこの大学入試改革は、**現在の中学3年生が高校3年生になるときが最初の年**です。理数科では上で述べたような「机上では体験できない学び」や「多くの体験活動」でこれからの時代に求められる力を育てていきます。

### 理数科と一緒に充実した高校生活を送りましょう！！

